

令和8年度 インフルエンザ予防接種のご案内（予約制）

★接種開始日時：2026年9月30日（水）



★予約方法：ネット・電話・窓口すべてに対応しています。

※業務効率化のため、ネット予約を優先していただけますと幸いです。

※予約枠が満席で予約が取れない場合はお手数ですが、ネットにて予約枠の状況を適宜ご確認をお願いします。キャンセル、変更、予約枠の調整などで空きが出ることがございます。

※インフルエンザワクチン接種は予約制となります（当日の予約枠に空きがあれば当日受付にも対応いたしますが、予約枠が満席の場合においては当日接種ができかねます）。

※当院では点鼻ワクチン（フルミスト点鼻液）を実施しておりません。ご了承ください。

★当院の接種設定期間：2026年9月30日 ～ 2025年12月19日

※12歳以下：注射ワクチンのみ2回接種が推奨されています。

★接種対象年齢： ●注射ワクチン（満1歳～）

※小学生以下のお子様：保護者の方の同伴が原則として必要です。

※中学生のお子様：保護者の方の署名済みの「予診票」があれば、保護者の方の同伴は不要です。

※16歳以上の方：保護者の方の署名は不要（大人と同じ対応）です。

★持参いただくもの（助成ありの方）

「マイナンバー等の身分証明書」「インフルエンザ予診票」「母子手帳」「無料となる場合の証明書類」等のご持参をお願いします。

★持参いただくもの（助成なしの方）

「インフルエンザ予診票」の事前記入にご協力をよろしくお願いいたします。

★お願いと留意事項

混雑緩和と円滑な接種のためにインフルエンザ予診票は、事前にご記入の上で来院ください。

※受付にて、「インフルエンザ予診票」を事前にお渡し、または、お受取り頂けます。

※65歳未満の方は当院ホームページよりダウンロードいただくことも可能です。

※インフルエンザワクチン接種日と同日の保険診療は行っておりません。

★会計方法：キャッシュレス決済（クレジットカード）もしくは 現金払い

※デジスマアプリ決済をご希望の方は、●事前のアプリ設定が必要です。

（デジスマアプリをダウンロード⇒アプリ内でクレジットカードを登録⇒予約時にクレジットカード決済希望を選択）

※窓口決済は、●クレジットカード決済 もしくは ●現金払い に対応しております。

Q1：注射ワクチンの費用は？

年齢により助成制度が活用できます。

当院での接種料金は以下の通りです。

令和8年度 料金表（自己負担額・税込） ※神戸市市民をイメージして作成（高瀬クリニック）		
注射ワクチン		
満1歳 ～ 12歳 (2回接種)	(1回目) (2回目) ともに1,300 円/回	・神戸市民の方 ・接種日時時点で18歳未満の子供が 2人以上 の世帯
満1歳 ～ 12歳 (2回接種)	(1回目) 1,300 円	・神戸市民の方 ・接種日時時点で18歳未満の子供が 2人未満 の世帯
	(2回目) 3,300 円	
13歳 ～ 成人 (1回接種)	3,300 円	助成なし
65歳 ～	1,500 円	・神戸市民の方
	無料	・生活保護・市民税非課税世帯など ・「無料となる場合の証明書類」が必要

Q2：今年のワクチン製造株について教えてください。

A：令和8年度ワクチンの製造株は下記となります。

<インフルエンザ HA ワクチン>

A 型株: A / スイス / 6849 / 2025 (IVR-278) (H1N1)

A / ミシガン / 105 / 2025 (SAN-049A) (H3N2)

B 型株: B / 東京 / EIS13-175 / 2025 (ビクトリア系統)

Q2：ワクチンの接種時期はいつがよいですか？

A：ワクチンを接種してから最初の2週間は、十分な効果が発揮できない可能性があります。流行期に合わせた接種をご検討ください。

Q3：ワクチンが効くのはいつ頃からですか？

A：接種してから約2週間すると効果が現れてきます。

Q4：注射ワクチンのメリットは？

A：不可化ワクチンのため飛沫や接触によりワクチンウイルスが感染する可能性がありませんので、乳児あるいは重度の免疫不全者との接触制限がありません。

A：妊婦中(妊娠初期から可能)・授乳中でも接種の安全性が確立されています(授乳中であってもインフルエンザのワクチン成分が母乳を通じて赤ちゃんに影響を与えることはありません)。

A：喘息の方でも安全に使用が可能です。

A：免疫抑制をきたす治療を受けているお子さんでも接種が可能です。

※アトピー性皮膚炎の生物学的製剤（オルミエント・リンヴォック等）

A：接種の直前・直後の抗インフルエンザ薬の使用にはなんら影響はございません。

Q5：卵アレルギーが心配です。接種できますか？

A：注射ワクチン/点鼻ワクチンともに微量の鶏卵が混入しておりますが、卵アレルギーの方でもほぼ問題なく接種できます。

Q6：注射ワクチンの接種回数・接種間隔について教えてください？

A：子どもは大人に比べて免疫の働きが弱く、1回のワクチン接種では十分な免疫獲得が得られ難いため、12歳以下の方は2回接種が推奨されています。発病防止に対するインフルエンザワクチン2回接種の有効率は60%と報告されています(6歳未満の小児の研究結果)。

A：1回目のインフルエンザワクチンの接種を受けてから2～4週間の間隔をあけて、2回目を接種すると良いでしょう。二次免疫応答を高めるためには、4週間隔で接種することを推奨します。

※13歳以上の方は通常は1回接種ですが、受験生などご希望の場合は2回接種も可能です。

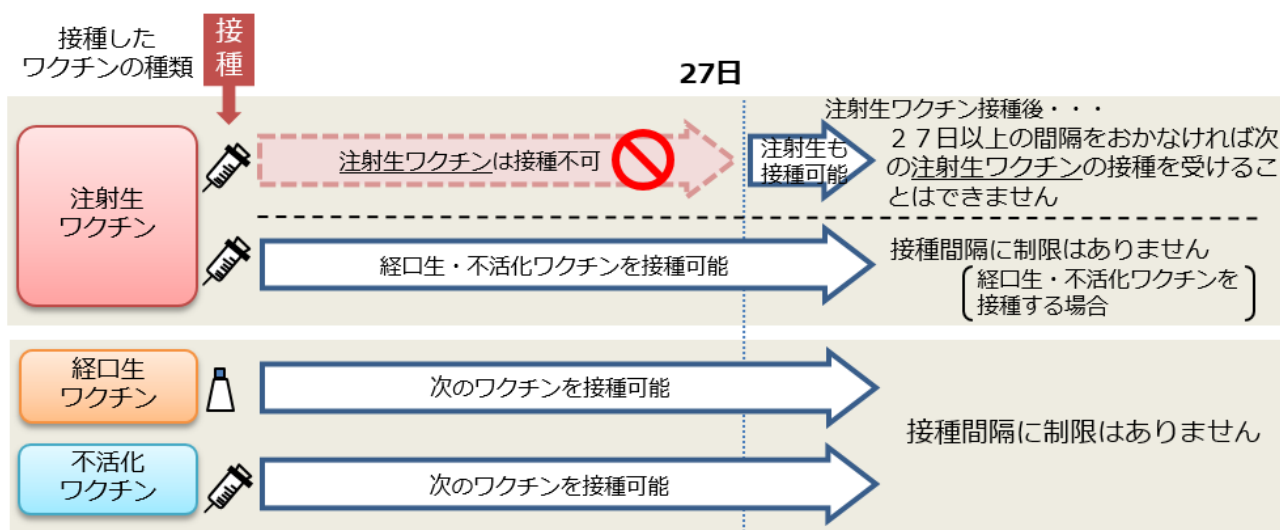
Q7：ワクチン未接種の状態でインフルエンザに罹患したが、ワクチン接種は受けたほうがいいのか？

A：インフルエンザにはA型とB型のウィルス型があり、さらに、A型の中にもいくつかの種類があり、同シーズンで2～3回罹患してしまう場合があります。インフルエンザワクチンにはA型とB型の両方の型が入っておりますので、インフルエンザ罹患後でも、インフルエンザワクチンを接種が推奨されます。ただし、インフルエンザに罹患し解熱してから少なくとも1週間前後あけて接種いただく必要があります。

Q8：他のワクチンとの接種間隔はどうしたらよいですか？

A：インフルエンザワクチンと他のワクチン接種での接種間隔の制限はなく、同時接種も可能です。ただし、ワクチン接種後1～2日は発熱や接種部位の発赤などの副反応が発生する事がありますので、別々に接種の場合には、約1週間前後、接種間隔をあける事をお勧めしております。注射タイプの生ワクチンは、27日以上接種間隔が必要となりますが、フルミストは点鼻タイプの生ワクチンですので、従来の注射型不活化ワクチンと同様に他のワクチン接種での接種間隔の制限はございません。

<令和2年10月1日からの「異なる種類のワクチンを接種する際の接種間隔のルール」>



Q1：インフルエンザワクチンと一緒に、他のワクチンを接種したいのですが可能ですか？

(新型コロナワクチン・带状疱疹ワクチン・肺炎球菌ワクチンなど)

A：インフルエンザワクチンとは異なる時間枠で他のワクチンの接種を実施しております。よって、同日に接種することは可能ですが、同時刻に接種を行うことはできません。

Q2：予約方法を教えてください。

A：ネット・電話・窓口すべてに対応しています。業務効率化のため、ネット予約を優先していただけますと幸いです。ネット予約ではご希望のワクチン(点鼻ワクチン・注射ワクチン)を選択してください。

Q3：予診票の入手方法を教えてください。

A：予診票は当院のホームページから印刷、ご記入いただくか、受付にお申し付けください。

Q4：会社などに提出するため、領収書を発行してほしいのですが可能ですか？

A：お一人様につき 1 枚発行しています。診断書などの書類作成をご希望の場合、作成時間を頂く場合や書類発行手数料がかかる場合がございますのでご了承ください。なお、領収書の再発行は受け付けておりませんので、紛失などされないようご注意ください。

Q5：泣いて暴れるなど、途中で接種を断念した場合の費用負担について教えてください

A：接種断念となっても料金は頂きません。

Q6：1 回目の接種を他の病院で受けました。2 回目だけ予約することは可能ですか？

A：可能です。

Q7：接種予約日前日に 38.0℃の発熱がありました。当日は平熱ですが、接種は可能ですか？

A：予約日からさかのぼって 1 週間以内に 37.5℃以上の発熱があった場合、接種は推奨されません。お手数ですが予約を変更のうえ、改めてご予約を推奨いたします。ネット予約の方は、ネットで予約変更が可能です。

♪ ご不明点等ございましたら遠慮なくお問合せを頂けますと幸いです ♪

高瀬クリニック(078-961-1001)

< インフルエンザワクチンの接種を受けられる方への一般的な注意事項 >

●ワクチンの効果と副反応

予防接種により、インフルエンザ感染を予防したり、症状を軽くすることができます。また、インフルエンザによる合併症や死亡を予防することが期待されます。

一方、副反応は一般的に軽微です。注射部位が赤くなる、腫れる、硬くなる、熱をもつ、痛くなる、しびれることがあります。通常は2～3日で消失します。発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛なども起こることもあります。通常は2～3日で消失します。過敏症として、発しん、蕁麻疹、湿疹、紅斑、多形紅斑、かゆみなどもまれに起こります。強い卵アレルギーのある方は、強い副反応を生じる可能性がありますので必ず医師に申し出てください。

非常にまれですが、次のような副反応が起こることがあります。(1)ショック、アナフィラキシー（蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等）、(2)急性散在性脳脊髄炎（ADEM）（通常、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等）、(3)脳炎・脳症、脊髄炎、視神経炎、(4)ギラン・バレー症候群、(5)けいれん（熱性けいれんを含む）、(6)肝機能障害、黄疸、(7)喘息発作、(8)血小板減少性紫斑病、血小板減少、(9)血管炎（IgA血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、白血球破碎性血管炎等）、(10)間質性肺炎、(11)皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、急性汎発性発疹性膿疱症、(12)ネフローゼ症候群。

(1)から(1)のような症状が認められたり、疑われた場合は、すぐに医師に申し出てください。なお、健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた人又は近親者が、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになります。

●予防接種を受けることができない人

1. 明らかに発熱のある人（通常は37.5℃以上の人）
 2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
 3. 過去に、インフルエンザワクチンの接種を受けてアナフィラキシーを起こしたことがある人
- なお、他の医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こした人は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いでください
4. その他、医師が予防接種を受けることが不適當と判断した人

●予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人

1. 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人
2. 発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている人
3. カゼなどのひきはじめと思われる人
4. 予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発しん、蕁麻疹などのアレルギーを疑う異常がみられた人
5. 薬の投与又は食事（鶏卵、鶏肉など）で皮膚に発しんが出たり、体に異常をきたしたことがある人
6. 今までにけいれんを起こしたことがある人
7. 過去に本人や近親者で検査によって免疫状態の異常を指摘されたことがある人
8. 妊娠の可能性のある人
9. 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患のある人

●予防接種を受けた後の注意

1. インフルエンザワクチンを受けたあと 30 分間は、急な副反応が起きることがあります。医療機関にいるなどして、様子を観察し、医師とすぐ連絡をとれるようにしておきましょう。
2. インフルエンザワクチン接種後、1 週間は副反応の出現に注意しましょう
3. 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすことはやめましょう
4. 接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつもどおりの生活をしましょう。激しい運動や大量の飲酒は避けましょう
5. 万一、高熱やけいれん等の異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください